



取扱説明書

アンダーシンク型

π WATER SYSTEM PRODUCED BY ACM

このたびは、
RA-500 をレンタルしていただきありがとうございます。
いつまでも安全に、快適にご使用いただくために、この
取扱説明書を最後までお読みください。

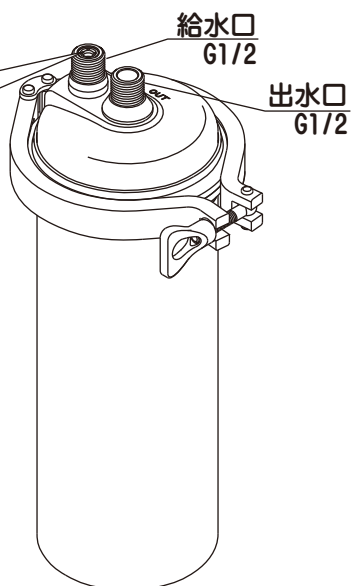
1	セット部品と各部の名称	2
2	取り付け方法	3
3	水の検査	6
4	その他の取り付け例	7
5	カートリッジの交換方法	8
6	ご使用上の注意	14

1 セット部品と各部の名称

セット部品

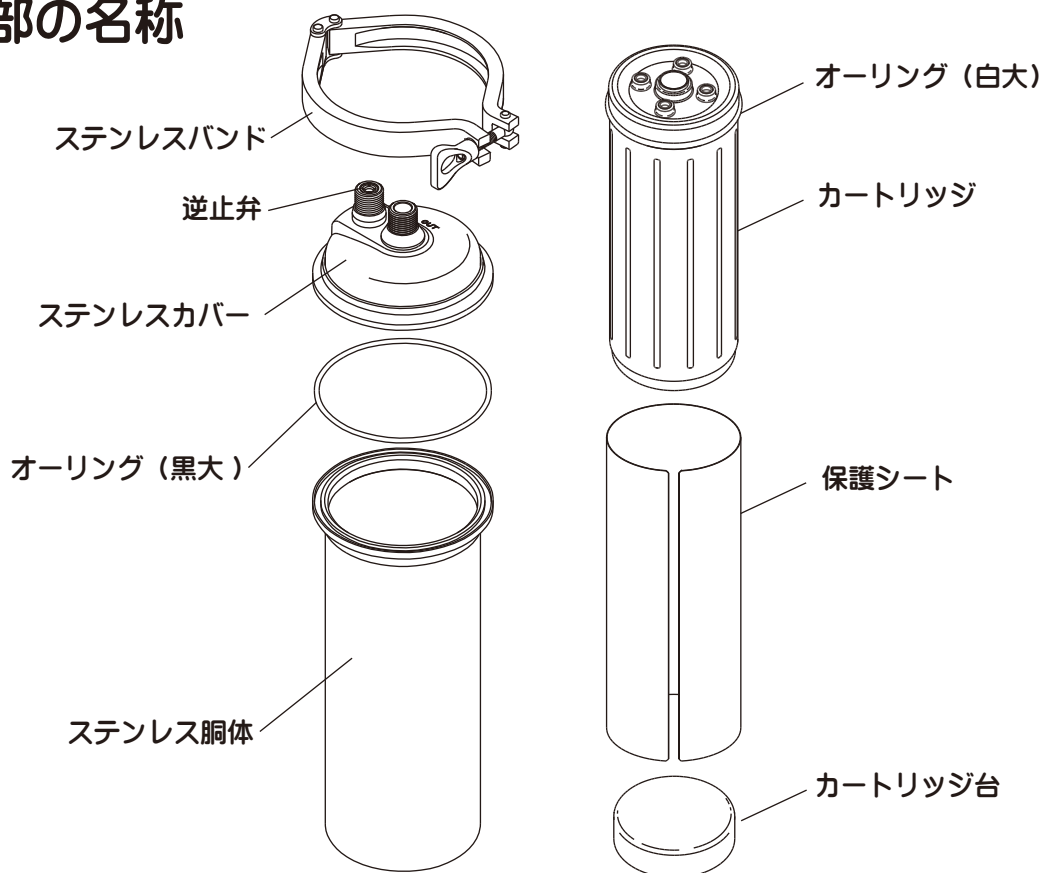
給水口には、逆通水を防止する弁がセットされています。

逆止弁が外れた場合のセットは11ページをご参照ください。



残留塩素測定試薬
(2包)

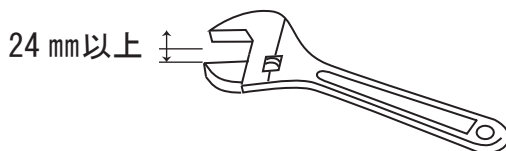
各部の名称



2 取り付け方法

必要な工具 〈ご準備ください〉

24 mm以上開くモンキーレンチ
をご準備ください。



必要な部品 〈ご準備ください〉

① ベンリ管エルボ [1 個]



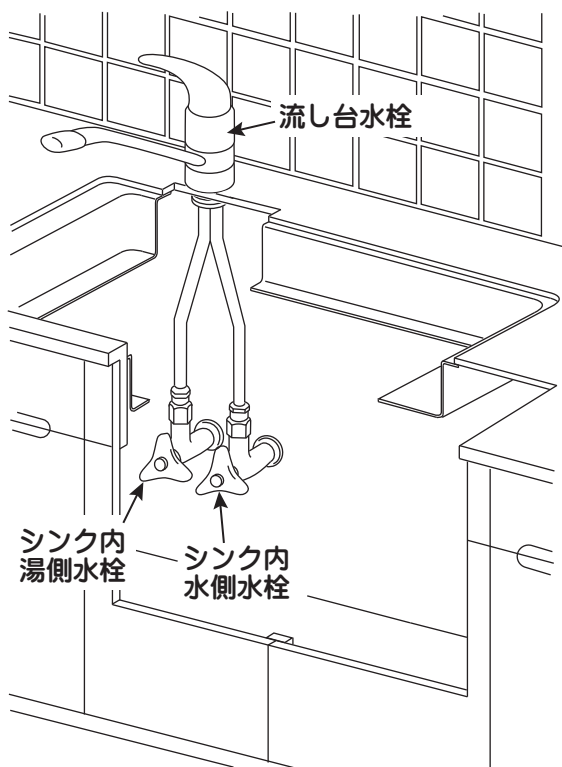
② ナット付ベンリ管エルボ [1 個]



③ ベンリフレキ [2 本]



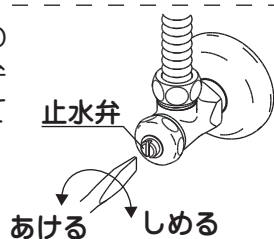
取り付け方法



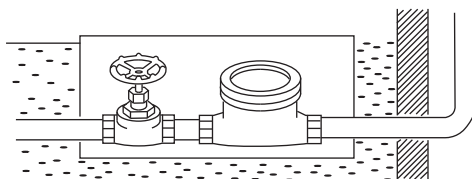
(1) シンク内の止水栓を閉めます

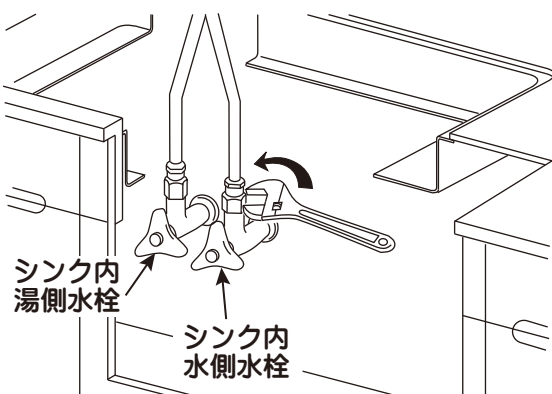
シンク内水栓を閉めてください。
混合水栓の場合（左図）湯側と水側の水
栓両方を閉めてください。
その後、流し台水栓を開いたときに水が
出ないことを確認してください。

ドライバー式の
場合は、止水弁
を回して閉めて
ください。



シンク内水栓が見あたらない場合、水道
メーター横の元栓を閉めてください。
その後、流し台水栓を開いたときに水が
出ないことを確認してください。



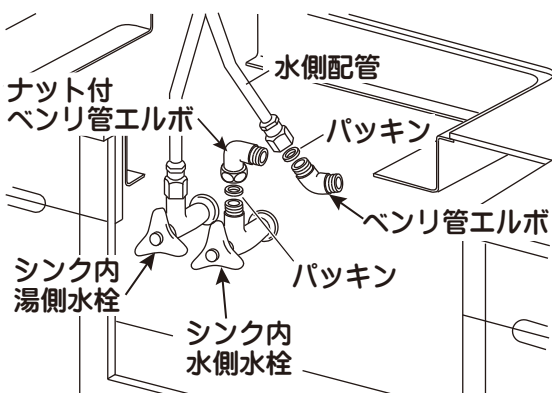


(2) シンク内の水側配管を外します

シンク内水側水栓の配管をモンキーレンチで取り外します。



取り外す時に配管内の水が出ますのでタオル等で拭き取ってください。

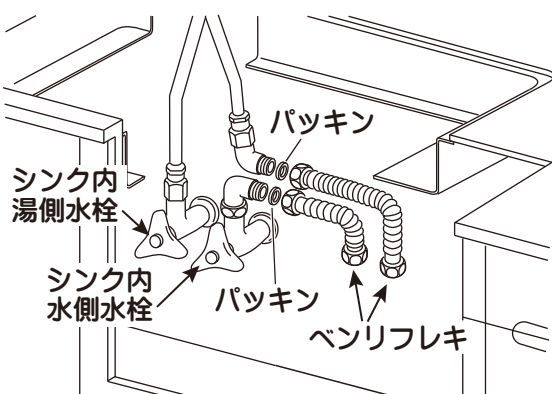


(3) 外した配管にエルボを付けます

- ① 水側配管にベンリ管エルボをモンキーレンチを使い取り付けます。
- ② シンク内水側水栓にナット付ベンリ管エルボをモンキーレンチを使い取り付けます。



パッキンを必ずセットしてください。

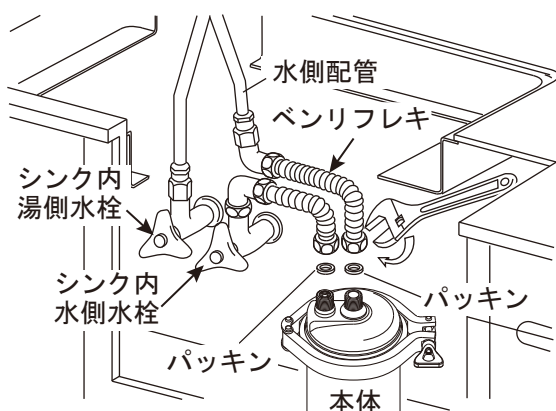


(4) ベンリ管エルボにベンリフレキを付けます

- ① 水側配管に取り付けたベンリ管エルボに、ベンリフレキをモンキーレンチを使い取り付けます。
- ② シンク内水側水栓に取り付けたナット付ベンリ管エルボに、ベンリフレキをモンキーレンチを使い取り付けます。



パッキンを必ずセットしてください。



⚠ ご注意 シンク内水側水栓に取り付けたベンリフレキを逆の本体上部中央 (OUT) に取り付けると、水が出ません。

(5) ベンリフレキに本体を取り付けます

- ① 水側配管のベンリ管エルボに取り付けたベンリフレキを、本体上部の中央 (OUT) ネジにモンキーレンチを使い取り付けます。
- ② シンク内水側水栓のナット付ベンリ管エルボに取り付けたベンリフレキを、本体上部の外側ネジにモンキーレンチを使い取り付けます。



⚠ ご注意 パッキンを必ずセットしてください。

(6) 本体に通水します

- ① 流し台水栓が閉まっていることを確認してから、シンク内水側水栓をゆっくり開けてください。



⚠ ご注意 ベンリ管エルボやベンリフレキの取り付け時に、パッキンがセットされていないと水が吹き出しますのでご注意ください。

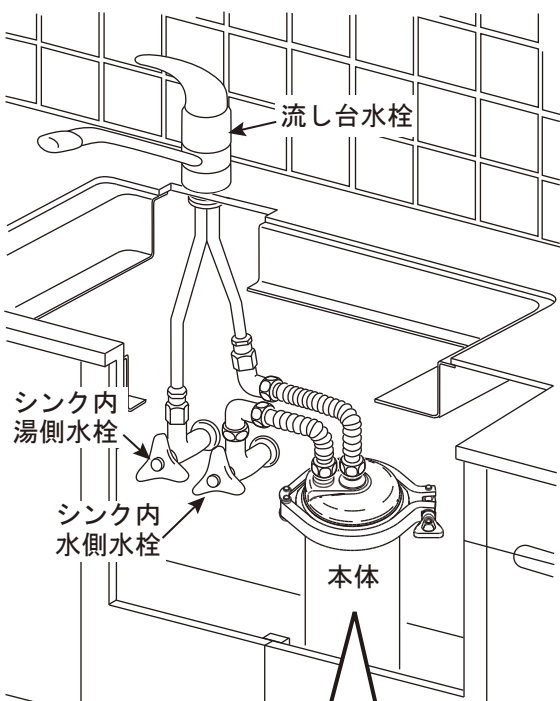
※ 水道の元栓を閉めて取り付けされた場合、水道の元栓を開けてください。

- ② 流し台水栓を少し開けてエアを抜き、水が出てきたら全開にて約2分間放水します。



⚠ ご注意 使い始めに活性炭の黒い微粉が浄水に若干混入することがあります。その時は微粉末がでなくなるまで (5分程度) 通水してください。

- ③ 放水後、流し台水栓を閉めて、シンク内湯側水栓を開けます。



⚠ ご注意 本体は立てて設置してください。倒して使用されると、原水が浄水されませんのでご注意ください。

(7) 水漏れの点検を行います

- ① 接続した部分を、タオル等できれいに拭いてください。
- ② 放水後、流し台水栓を閉めてシンク内湯側水栓を開けて、本体に圧力が加わった状態にしてから、ベンリ管エルボ・ベンリフレキ・本体の接続した各ネジ・ナット部分からの水漏れが無いことを確認してください。
点検には、ティッシュペーパーを使用すると、わずかな漏れもチェックできます。

3 水の検査

◆水の検査 (残留塩素測定試薬 使用)

これは、本体が正しく取り付けられているかを確認する検査です。

混合水栓に取り付けられた場合、水側にして約20秒放水後、コップに水をとってください。

*温水が混ざると正しく検査できませんのでご注意ください。

確認方法

- ①コップに浄水後の水(約50cc)を取ります。
- ②付属部品の残留塩素測定試薬を1袋加えます。
- ③かき混ぜて、無色透明で有ることを確認してください。
(判定は1分以内で行ってください。)

残留塩素測定試薬は、水道水の中に含まれている残留塩素の有無を測定する試薬です。
塩素が残留していると水はピンクに変色します。

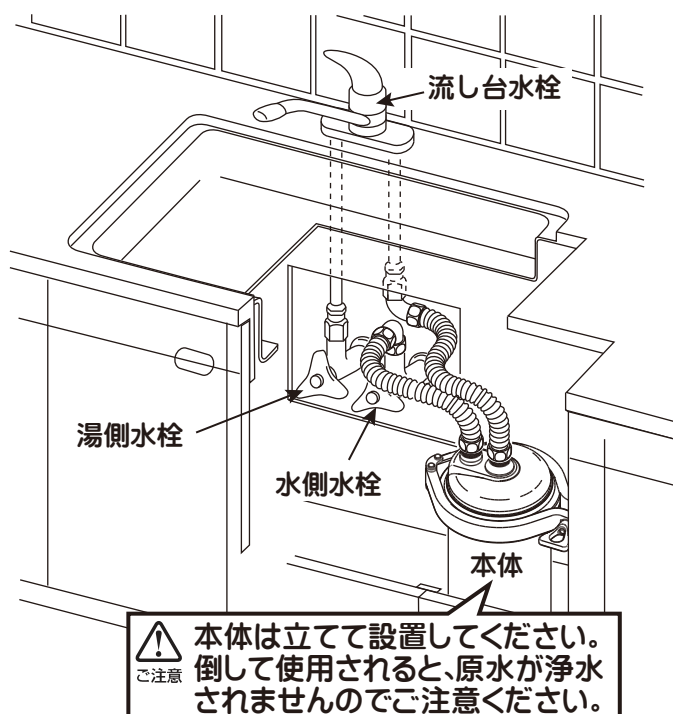
※但し、1分以上置くと塩素が無い状態でも変色します。ご注意ください。



- 試薬は直射日光を避け、なるべく湿気の少ない涼しい場所に保管してください。
- 品質保持のため、袋はご使用直前に開封してください。
- 試薬が変色したものはご使用にならないでください。
(保管状態により、試薬が白色から変色してしまうことがあります。)
- 検査後のコップの水はすみやかに捨てて、コップはよく洗ってからご使用ください。
- 残留塩素測定試薬および残留塩素測定試薬の入った水は、飲まないようにご注意ください。
- 試薬が手や皮膚についた場合は、よく洗い流してください。
- 万一、目や口に入った場合は、よく水洗いした後、医師にご相談ください。
- 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

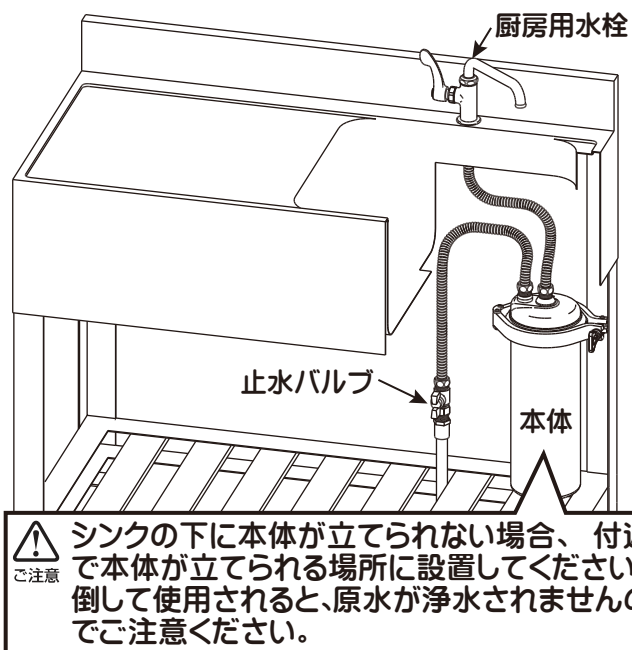
4 その他の取り付け例

給水管がシンクの外側に配管されている場合



- ① シンクの奥の背面ボードを外します。
- ② 水側水栓及び湯側水栓を閉めて、水側水栓の配管を外します。
- ③ 水側水栓および外した配管にベンリ管エルボを取り付けます。
- ④ 各ベンリ管エルボにベンリフレキを取り付けます。
- ⑤ ベンリ管フレキと本体を接続します。
- ⑥ 水側水栓をゆっくり開けて本体に水を送り、流し台水栓を少し開けてエアが抜けたら全開にして、約5分間放水します。
その後、湯側水栓をゆっくり開けます。

厨房用水栓に取り付ける場合

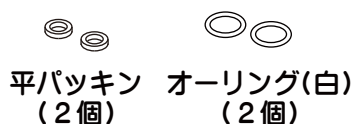
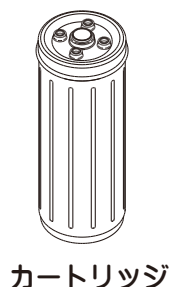


※ 安定した場所に本体を立てて設置してください。

- ① 厨房用水栓の下側にある止水バルブを閉め、厨房用水栓から水が出ないことを確認後に、止水バルブの厨房水栓側のナット外します。
- ② 止水バルブと本体の給水口をベンリフレキで接続します。
- ③ 厨房用水栓につながっている配管を本体の出水口に接続します。
- ④ 止水バルブをゆっくり開けて本体に水を送ります。厨房用水栓を少し開けてエアを抜き、その後に全開にして約5分間放水します。

5 カートリッジの交換方法

セット部品



カートリッジ

平パッキン (2個) オリング(白) (2個)

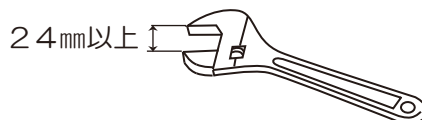
オリング(黒大) (1個)

残留塩素測定試薬 (2包)

保護シート (予備)

必要な工具 〈ご準備ください〉

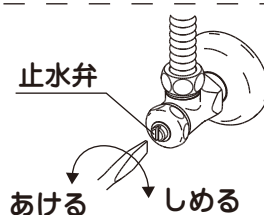
24mm以上開くモンキーレンチ
をご準備ください。



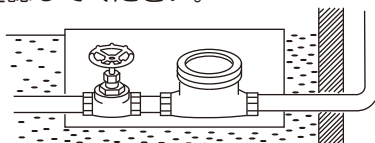
※【重要】(1) 水栓を閉めて本体を外します

- ① シンク内水側水栓、湯側水栓を閉めて、流し台の水栓を開けて水が出ないことを確認します。

ドライバー式の場合は、止水弁を回して閉めてください。



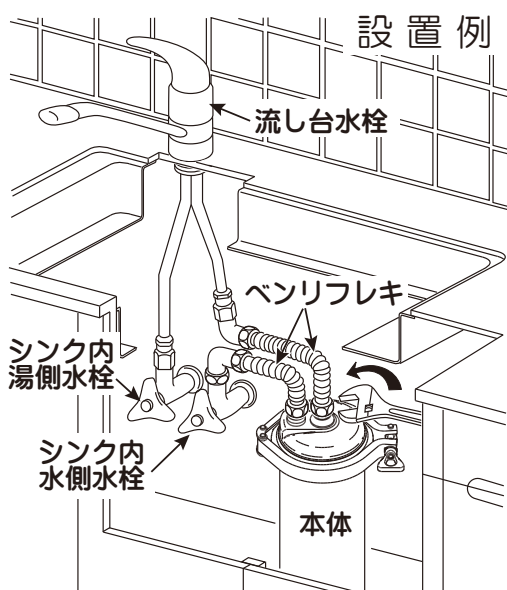
シンク内水栓が見あたらない場合、水道メーター横の元栓を閉めてください。
その後、流し台水栓を開いたときに水が出ないことを確認してください。



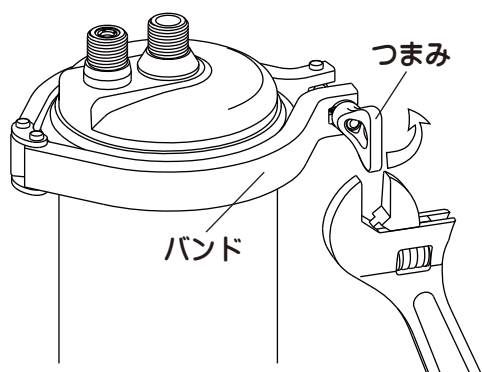
- ② モンキーレンチを使い、本体からベンリフレキを外します。



取り外す時に、配管内の水が出ますので
タオル等で拭き取ってください。



(2) カートリッジを取り出します



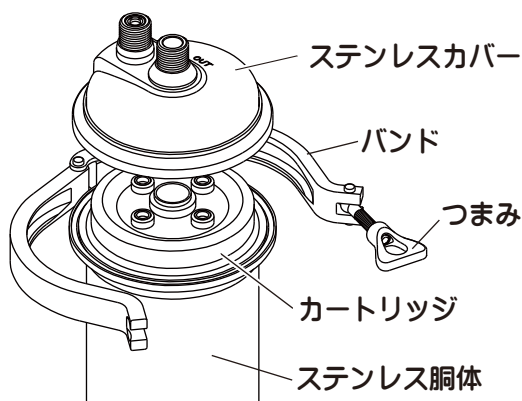
- ① バンドのつまみを矢印の方向に回してつまみをゆるめてください。



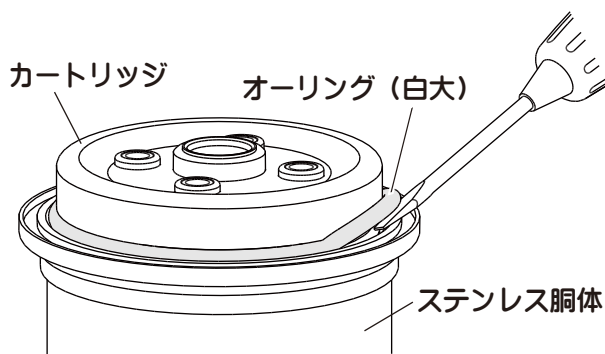
つまみを回した時に徐々にキツくなる場合は、必ず販売店にご相談されて点検を行ってください。
この状態でつまみを回し続けると焼き付きを起こし、つまみが動かなくなりますのでご注意ください。



バンドをゆるめる時に本体から水が出ますので、作業は流し台で行ってください。

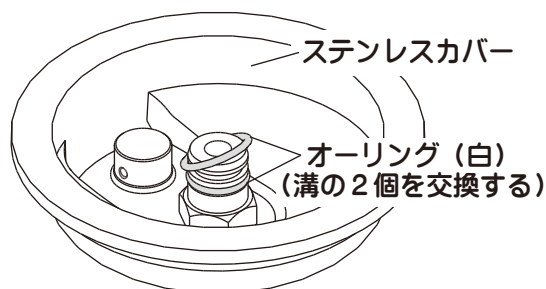


- ② バンドのつまみをゆるめて外し、ステンレスカバーを持ち上げて、ステンレス胴体から外してください。



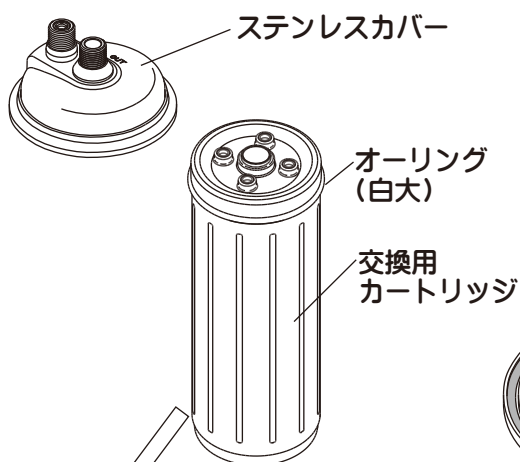
- ③ ステンレス胴体からカートリッジを引き抜いてください。
胴体内に入った水は、出してください。

※ カートリッジにセットされているオーリング (白大) がステンレス胴体との間に押し込まれて、カートリッジが抜けない場合があります。その時は、オーリング (白大) とステンレス胴体の間にマイナスドライバーを差し込んでオーリング (白大) を引き出して、カートリッジを引き抜いてください。

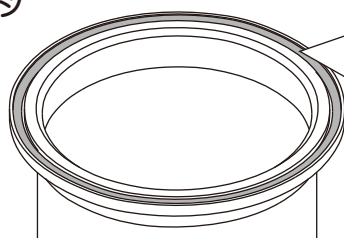


- ④ ステンレスカバーの内側中心にセットされているオーリング (白) を2個交換してください。

(3) 交換用カートリッジを本体にセットします

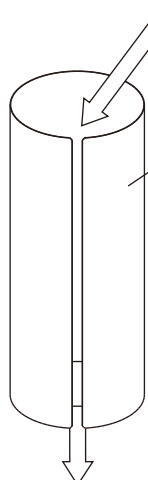


- ① ステンレス胴体内にカートリッジ台を入れてから保護シートを入れて、交換用カートリッジを差し込んでください。ステンレス胴体上部の溝に新しいオーリング (黒大) をセットしてください。このとき、溝やパッキンにゴミ等がないようにセットしてください。

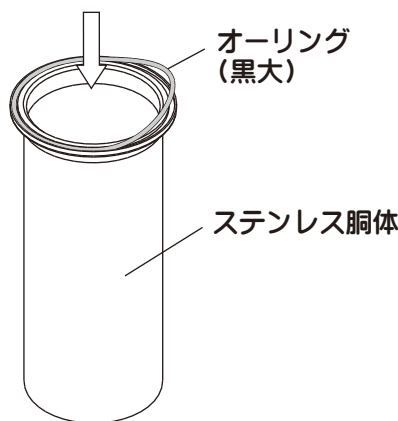


オーリング (黒大) を交換してください。ステンレス胴体の溝からはみ出すと水漏れしますのでしっかりと溝に入れてください。

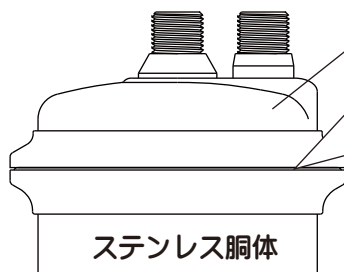
- 保護シート
カートリッジが抜けなくなるので、必ず1枚をセットしてください。



- カートリッジ台
平面を上に向けてセットしてください。

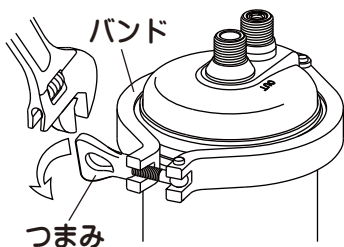


- ② ステンレスカバーとステンレス胴体との隙間が均等になるように、ステンレスカバーを差し込みます。



ステンレスカバーを左右に回しながら、隙間を2 mm以下にしてください。

- ③ バンドをセットして、ステンレスカバーとステンレス胴体との隙間がなくなるようにつまみを締めて完了です。



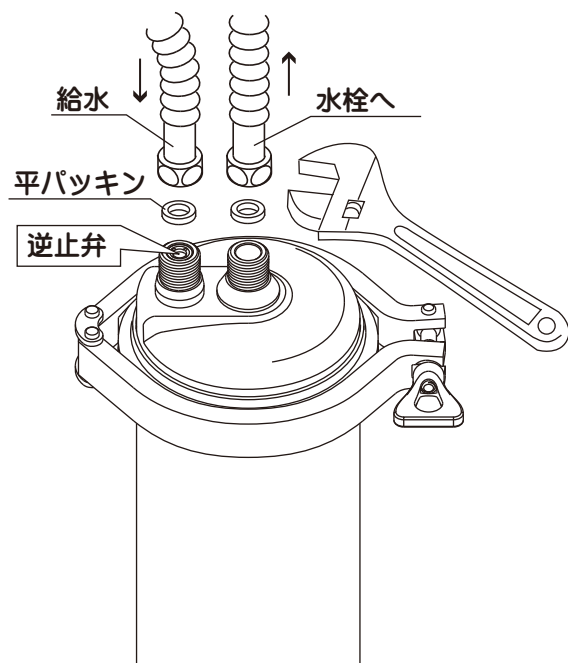
締め付け目安は、セットしたバンドのつまみを手でしっかりと締めた後、モンキーレンチ等で半周程度 (90° ~ 180°) 締め付けてください。



必要以上に締め付けしないでください。つまみのネジが焼き付いて回らなくなります。

※交換後のカートリッジは、お住まいの不燃物処分方法にしたがって処分してください。

(4) 本体をセットします



- ① 分岐側の配管と、本体上部外側の給水口を接続します。

平パッキンがセットされていることを確認してください。ベンリフレキのナットは、モンキーレンチ等で締めてください。

- ② 専用水栓側の配管と、本体上部中央の出水口を接続します。

平パッキンがセットされていることを確認してください。ベンリフレキのナットは、モンキーレンチ等で締めてください。

ベンリフレキの取り付け箇所から水が漏れる場合、同梱されている平パッキンと交換してください。



ご注意

※平パッキンを二重にセットすると水漏れの原因になります。



ご注意

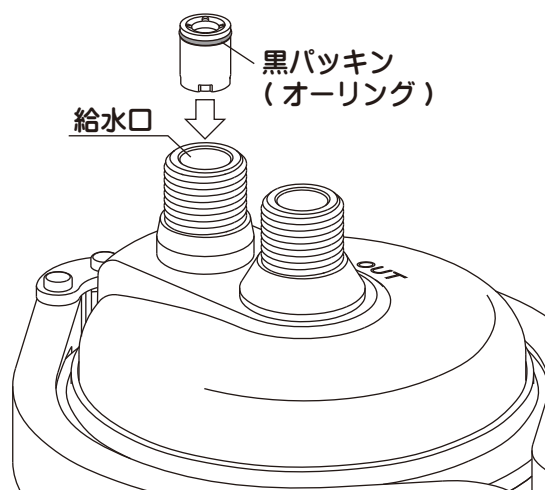
逆に通水するとカートリッジが破損して、活性炭等の濾材が流出するため、給水口には逆通水を防止する弁がセットされています。



ご注意

逆に接続すると水が出ません。正しく接続してください。

逆止弁が外れた場合は、給水口に**黒パッキン（オーリング）**を上側にして、差し込んでください。



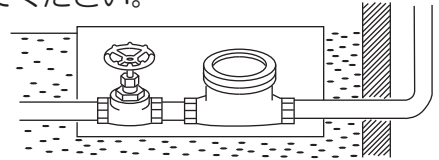
(5) 止水栓を開けて通水します

- ① 流し台水栓が閉まっていることを確認してから、シンク内水側水栓をゆっくり開いてください。



ベンリ管エルボやベンリフレキの取り付け時に、平パッキンがセットされていないと水が吹き出しますのでご注意ください。

※ 水道の元栓を閉めて作業をされた場合、水道の元栓を開けてください。

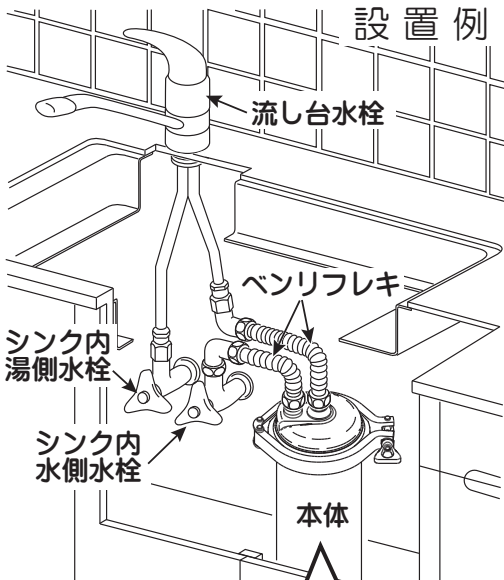


- ② 流し台水栓を少し開けてエアを抜き、水が出てきたら全開にて約2分間放水します。



使い始めに活性炭の黒い微粉が浄水に若干混入することがあります。その時は微粉末がでなくなるまで(5分程度)通水してください。

- ③ 放水後、流し台水栓を閉めて、シンク内湯側水栓を開けます。



本体は立てて設置してください。倒して使用されると、原水が浄水されませんのでご注意ください。

(6) 水漏れの点検を行います

- ① 接続した部分を、タオル等できれいに拭いてください。
- ② 放水後、流し台水栓を閉めてシンク内湯側水栓を開けて、本体に圧力が加った状態にしてから、ベンリ管エルボ・ベンリフレキ・本体の接続した各ネジ・ナット部分からの水漏れが無いことを確認してください。
点検には、ティッシュペーパーを使用すると、わずかな漏れもチェックできます。

(7) 水の検査

6ページをご参照ください。

こんなときは

修理を依頼される前に確認してください

こんなときは	もう一度確認してください	解 決 方 法	参照ページ
本体から水漏れする	胴体と蓋の間のオーリングを交換しましたか？	古いものをそのまま使用されると水漏れの原因となります。「カートリッジの交換方法」を参照の上、オーリングを交換してください。	10ページ(3)
	胴体と蓋の間のオーリングが正しくセットされていますか？	ステンレス胴体の溝のゴミ等を取り除き溝にしっかりとオーリングをセットし直してください。	10ページ(3)
	蓋を固定しているバンドの「つまみ」が、ゆるんでいませんか？	ステンレス胴体の溝に、しっかりとオーリングがセットされていることを確認してから、バンドを取り付けて「つまみ」を手で強く回して締め付けてください。	10ページ(3)
塩素反応が出る (寿命が短い)	給水 (IN) 、出水 (OUT) の配管を、逆に接続していませんか？	逆に接続すると正常に浄水されません。正しく接続してください。	11ページ(4)
	混合水栓に直接取り付けられていますか？	お湯は浄水しませんので、お湯を混合しないように、水栓のレバーを水側に回してご使用ください。	
	蓋の内側中央にセットされているオーリング (白) を交換しましたか？	古いオーリング (白) が劣化していると思われます。新しいオーリング (白) に交換してください。	9ページ(2)
	胴体の底にカートリッジ台がセットされていますか？	カートリッジ台が入っていないと、水圧でカートリッジが下側に押されてしまいます。必ず、カートリッジ台をセットしてください。	10ページ(3)
	本体を倒して使われていませんか？	本体を倒して使われると浄水が正常に行われません。本体を立ててご使用ください。	12ページ(5)
活性炭が出る	外れた逆止弁を逆に差し込みましたか？	外れた逆止弁を、逆に差し込んで使用すると活性炭が出ます。点検が必要になりますので、販売店にご相談ください。	11ページ(4)
白い異物が出る		キッチン回りは雑菌が繁殖しやすいので水栓の出水部を定期的に、歯ブラシを使う等して、清潔に保ってください。	
水が出ない	本体の給水口接続にソケットが使われていませんか？	ナットによる接続パイプ (ベンリフレキ等) を使ってください。逆止弁が外れた場合は、正しく差し込んでください。	4ページ(4)
	近所で水道管工事、または給水設備のメンテナンスが行われましたか？	水道管工事等による赤水を通水された場合、カートリッジ上面と給水孔を水洗いしても改善されない場合はカートリッジの交換が必要です。販売店にお問合せください。	

井戸水をご使用するときは、保健所での飲料適合の承認を得たものでご使用ください。

6 ご使用上の注意

- (1) 寒冷地の場合は、室内の凍結恐れのない場所に設置してください。
- (2) 水道圧0.5MPa以下でご使用ください。0.5MPaを越える場合、減圧弁を給水側に取り付けてください。
- (3) 本体は立てて設置してください。倒して使用されると、原水が浄化されませんのでご注意ください。
- (4) ご使用は、水（飲料水適合）だけにしてください。お湯を通したとき、臭いの成分が浄水に混ざる場合がありますので、ご注意願います。短時間の通水であれば、問題ありません。
- (5) 朝、最初に使う場合は、約1分間の捨て水をしてください。
2～3日使用されなかった場合は、約2分間の捨て水をしてください。
- (6) カートリッジの寿命の目安は、約2年です。
1日60ℓ使用時
但し、水質の違いにより浄化能力が異なります。
- (7) 井戸水、赤水等で適度に汚れた水道水、並びに全量方式（水道給水の全量を浄化する方式）では、カートリッジの浄化能力が極端に短くなります。
- (8) 受水槽・高架水槽・配管等の清掃、水道工事の際には、大量の赤さび、ゴミ等が発生することがあります。このような時は、水道水をしばらく放水し、濁りが消えてからご使用ください。
- (9) 金魚や熱帯魚には使用しないでください。
 - ・水質の違いにより適さない観賞魚がいるため。
 - ・カートリッジの寿命付近でカルキ（残留塩素）の除去が不十分な場合は、魚が死ぬ恐れがあるため。

■仕 様

型 式	RA-500
仕 様	アンダーシンク型
初期流量	4リットル / 分
塩素除去能力 ※1	44,000リットル
本体材料	ステンレス
本体寸法（外寸φ×高さ）	φ144×360mm
本体重量（満水時）	約6.5kg
カートリッジ交換時期	使用限界 約2年 （1日60リットル使用時）

※水質の違いにより、塩素除去能力が異なる事があります。

■製造元

株式会社 エイ・シー・エム